

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

小矢部市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

富山県小矢部市

3 地域再生計画の区域

富山県小矢部市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、昭和 61 年の 37,055 人をピークに減少が続いており、直近の国勢調査（令和 2 年実施）では、28,983 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、現状のペースでは、令和 42 年（2060 年）の総人口は 14,070 人となり、昭和 61 年比で 62%減となる見込みである。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14 歳）割合が平成 12（2000）年の 13.4%から令和 2（2020）年の 10.2%に減少している一方、老年人口（65 歳以上）割合は平成 12（2000）年の 23.5%から令和 2（2020）年の 37.5%に大幅に増加しており、少子高齢化が進行している。また、生産年齢人口（15～64 歳）割合も平成 12（2000）年の 63.1%から令和 2（2020）年の 52.3%に減少となっている。

自然動態をみると、出生数は平成 28（2016）年の 199 人から減少傾向で推移し、令和 5（2023）年は 167 人となっている。その一方で、死亡数は平成 28（2016）年の 404 人から緩やかに増加しており、令和 5 年は 482 人となっている。よって自然減は拡大傾向にあり、令和 5 年は▲315 人（自然減）となっている。

社会動態をみると、令和 5（2023）年には転入者 862 人が転出者 793 人を上回る社会増 69 人であった。しかし、平成 24（2012）年以降では総じて転出超過が続いている。

このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、若者の出会い・交流を推進するとともに、「結婚」、「妊娠」、「出産」、「子育て」、「進学」、「就職」までの一貫した支援の強化等により自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、女性や高齢者、外国人等、誰もが活躍できる多様な就労機会の拡大を図り、仕事を求めて市外へ転出する人を抑制すること等により社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成に取り組むことによって自然減や社会減に歯止めをかける。

- ・基本目標 1 活躍できる“仕事づくり”
- ・基本目標 2 人を呼び込む魅力づくり”
- ・基本目標 3 未来を拓く“人づくり”
- ・基本目標 4 みんなで支え合う“地域づくり”

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R11年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内事業所数	1,597事業所	1,570事業所	基本目標 1
	市内従業者数	16,276人	16,000人	
イ	社会動態	69人	0人	基本目標 2
	観光客入込数	1,067千人	1,280千人	
ウ	出生数／15～49 歳の女性の人口（千人）	38.0人	40.0人	基本目標 3
	婚姻件数／15～49 歳の人口（千人）	7.5件	13件	

エ	小矢部市が暮らしやすい と感じる市民の割合	59.6%	65.0%	基本目標 4
	電子回覧板アプリの導入 地区数	10地区	18地区	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

小矢部市まち・ひと・しごと創生推進計画

ア 活躍できる“仕事づくり”

イ 人を呼び込む“魅力づくり”

ウ 未来を拓く“人づくり”

エ みんなで支え合う“地域づくり”

② 事業の内容

ア 活躍できる“仕事づくり”

- ・既存産業を活性化し競争力強化・発展を図るとともに、本市の特性である広域交通網の利便性を活かした新たな魅力ある産業・事業所の創出を図り、市内における就労人口の増加に努めます。
- ・農林業における担い手確保、生産性向上に向けてデジタル技術を活用したスマート農業の普及を図り、6次産業化・ブランド化による高付加価値化を推進し、若者世代が魅力を感じる産業への脱皮を図ります。
- ・起業・新分野開拓等を支援し、女性や高齢者、外国人等、誰もが活躍できる多様な就労機会の拡大を図り、仕事を求めて市外へ転出する人を抑制するとともに、都会からの移住者がスキルを活かせる仕事づくり、子育て世帯が安心して働ける職場環境づくりに努めます。

《具体的な事業》

- ・企業立地助成事業
- ・創業支援事業 等

イ 人を呼び込む“魅力づくり”

- ・アウトレットモールを拠点とした観光ルートの確立や、稲葉山・宮島峡の自然景観、倶利伽羅峠や今石動城址、寺院等の地域資源を活かしたインバウンド観光の充実とともに、地域の伝統的な祭りやイベントへの交流人口・関係人口の関わりを支援し、地域活力の維持・増進と魅力づくりを図ります。
- ・金沢市や高岡市などへの通勤の利便性などの立地の優位性や広域交通網の利便性を活かし、人口流出を抑制するとともに、比較的安価な土地価格をPRする等により移住施策の促進を図ります。
- ・本市の優れた自然環境や歴史的資源を活かしながら、生活環境の充実に努めるとともに、中心市街地の活性化を図り、若者や女性にとって魅力あるまちづくりを推進します。

《具体的な事業》

- ・住宅取得助成事業
- ・観光推進事業 等

ウ 未来を拓く“人づくり”

- ・若者の出会い・交流を推進するとともに、「結婚」、「妊娠」、「出産」、「子育て」、「進学」、「就職」までの一貫した支援の強化、近居も含むおやべ型三世代同居モデルの推進により、若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえます。
- ・確かな学力と豊かな人間力を育む教育環境の充実に図るとともに、ふるさとへの愛着心を育てる体験教育等に取り組むことで、ふるさとへの想いを強く持ちつつ未来を拓き、小矢部市の将来を担う人づくりを推進します。
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現等により、若者・女性の能力や感性を最大限に活かした経済活動を促進します。

《具体的な事業》

- ・「縁結びさん」活動事業

- ・母子保健推進事業 等

エ みんなで支え合う“地域づくり”

- ・国土強靱化の推進と地域住民同士の支え合いにより、安全で安心して暮らしていける生活環境の整備を図ります。
- ・地域医療・福祉の充実等、地域包括ケアシステムの深化・推進を図りながら、人や資源のあらゆるリソースがつながって地域とともに作っていく「地域共生社会の実現」を図っていきます。また、健康寿命の延伸を目指します。
- ・とやま呉西圏域都市圏ビジョンに基づく連携事業を推進し、圏域全体の経済成長のけん引や生活関連機能サービスの向上等を図ります。

《具体的な事業》

- ・自主防災組織育成事業
- ・市営バス運行事業 等

※なお、詳細は第3期おやベルネサンス総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

400,000 千円（2025年度～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月頃に市長を本部長とする「おやベルネサンス推進本部」において施策・事業を推進するとともに、内部評価、改善策の検討を行う。外部組織として「おやベルネサンス市民会議」を設置し、目標値やK P Iの達成状況を踏まえ戦略全体を評価する。評価した内容については、議会による効果検証の意見をいただいた後、速やかに、市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2025年4月1日から2030年3月31日まで

6 計画期間

2025 年 4 月 1 日から 2030 年 3 月 31 日まで